

# サイバー犯罪被害の実態

令和8年2月

福島県警察本部

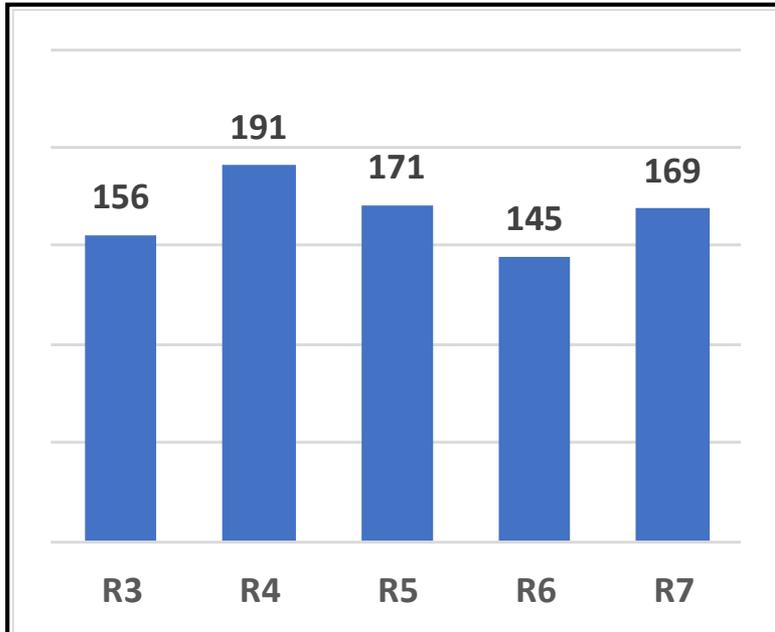
サイバー犯罪対策課

- 1 福島県内における検挙状況等**
- 2 ニセ社長詐欺について**
- 3 企業・団体を対象としたアンケート  
結果及び対策**
- 4 警察からのお願い**

# **1 福島県内における検挙状況等**

# 福島県内における検挙状況

## ＜検挙件数の推移＞



## ＜検挙内訳＞

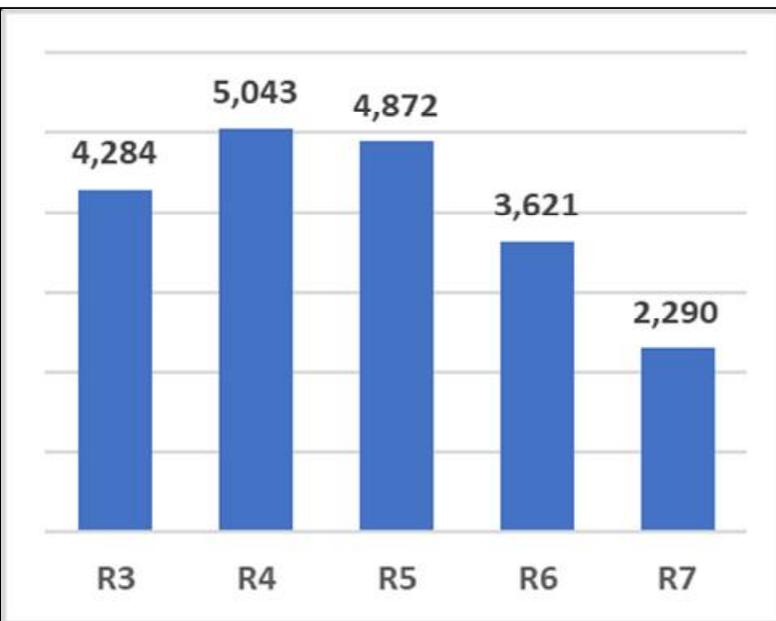
	令和7年		令和6年		増減数		
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	
不正アクセス禁止法違反	15	3	9	2	+6	+1	
電磁的記録対象犯罪	16	8	9	2	+7	+6	
その他	著作権法違反	0	0	0	0	0	0
	商標法違反	2	0	4	5	-2	-5
	犯罪収益移転防止法違反	36	19	38	20	-2	-1
	DV・ストーカー関係事犯	3	3	4	4	-1	-1
	児童買春・児童ポルノ法違反	11	4	14	11	-3	-7
	青少年健全育成条例違反	7	4	8	4	-1	0
	刑法犯	65	22	52	29	+13	-7
	詐欺	(34)	(16)	(32)	(22)	+2	-6
	不正作出電磁的記録供用	(8)	(3)	(10)		-2	+3
	その他	14	12	7	1	+7	+11
小計	138	64	127	74	+11	-10	
合計	169	75	145	78	+24	-3	

- 県内におけるサイバー事案等の検挙  
令和7年中の検挙件数 169件（前年比+24件）

- 検挙の特徴  
令和7年中の検挙件数は増加傾向罪種としては
  - ・ 不正アクセス禁止法違反 15件（前年比+6件）
  - ・ 電磁的記録対象犯罪 16件（前年比+7件）

# 福島県内における相談受理状況

## <相談件数の推移>



## <相談内訳>

	令和7年	令和6年	増減数
詐欺・悪質商法(ネットオークション以外)	560	1,408	-848
名誉毀損・誹謗中傷	114	197	-83
ネットオークション関係	2	16	-14
迷惑メール関係	333	652	-319
不正アクセス関係	754	371	383
コンピュータ・ウイルス被害	37	39	-2
違法有害サイト取締要望	72	79	-7
児童の誘い出し、児童ポルノ	6	12	-6
クレジットカード犯罪被害	139	650	-511
契約関連トラブル	1	4	-3
その他	272	193	79
合計	2,290	3,621	-1,331

- 県内におけるサイバー事案等に関する相談  
令和7年中の相談件数 2,290件（前年比-1,331件）

### ● 相談の特徴

令和7年の相談受理件数が大きく減少

- ・ 詐欺・悪質商法に関する相談
- ・ クレジットカード犯罪被害の相談

560件、前年比-848件

139件、前年比-511件

その一方で

- ・ 不正アクセス関係の相談

754件、前年比+383件

## **2 ニセ社長詐欺について**

# ニセ社長詐欺について

● ニセ社長詐欺の現状について  
ビジネスメール詐欺の一種。

経営者等になりすましてインターネットで公開されている法人等のメールアドレスに電子メールを送り、業務命令を装って、指定した口座に送金させる詐欺。

● 具体的な手口

経営者等をかたりLINEグループをメール受信者に作成させて、個別のやりとりができる環境を構築し、業務命令を装って指定口座に送金させるなど。

そのほかに、メール内にマルウェア(ウイルス)を仕込む手口も確認されている。県内においても同様の手口と思われるメールが確認されている。

[Redacted]

差出人:  
送信日時:  
宛先:  
件名:

[Redacted]

メールにて失礼いたしますが、今、会社にいらっしゃいますか。

[Redacted]

差出人:  
送信日時:  
宛先:  
件名:

[Redacted]

[SPAM] [Spam]業務調整に関するご案内

業務上の都合により、  
新しく LINE グループを作成いただきたく存じます。

【作成時のお願い】

・他の方は招待せず、作成のみで結構です

作成が完了しましたら、

差し支えなければ、

LINE グループの QR コードを本メール宛に

ご送付いただけますと幸いです。

こちらからグループに参加のうえ、

速やかに業務調整を進めさせていただきます。

-----  
以上、

よろしくお願いいたします。

代表取締役: [Redacted]

# ニセ社長詐欺について

## ● ニセ社長詐欺に対する対策

- (1) 添付ファイル・URLは疑う習慣を  
たとえ送信者が社長の名前であっても無条件に信用しないようにする。  
特に、LINEグループの作成や送金に関する指示については詐欺を疑う。
- (2) 別ルートで確認する  
「至急」「重要」などといった文言が入った不審なメールや少しでも違和感を覚えるような指示があった場合は、メールへの返信ではなく、電話等で本人に確認する。
- (3) 組織内でのルール作り  
「不審なメールが来た」と思った場合は、自分だけで判断せず、上司やシステム管理部門へ報告・相談するよう徹底させる。

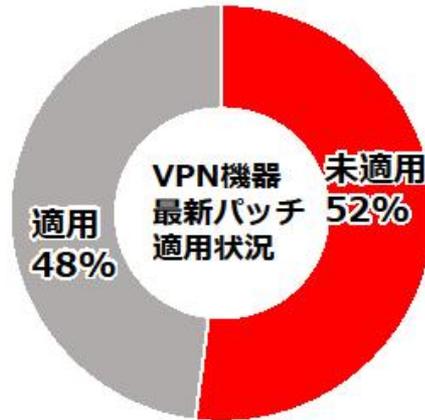
# 企業・団体を対象とした アンケート結果及び対策

# サイバー攻撃の被害に係る 企業・団体を対象としたアンケート調査結果及び対策

## アンケートから分かる対策状況

VPN機器を利用している組織の  
半分以上が最新のパッチを未適用

全体の約4割が社外からの業務アクセス  
時の認証にID・パスワードのみ



### 認証方法

1位	ID・パスワードのみ	39.8%
2位	電子証明書	27.5%
3位	認証アプリ	23.2%
4位	ワンタイムパスワード	17.8%
5位	SMS認証	6.1%

侵入経路の脆弱性放置、弱い認証方式

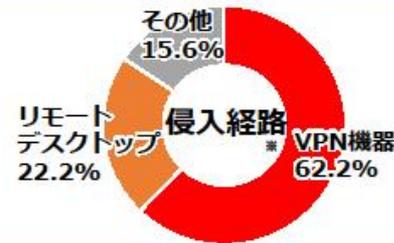
ランサムウェア被害のおそれ

## ランサムウェア被害の状況

中小企業を中心として被害は高止まり

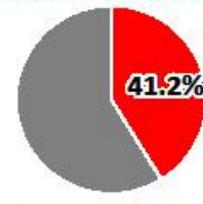
VPN機器の悪用が多数

被害報告件数の推移\*



## 事故対応マニュアル等の作成

約4割が未作成 被害拡大のおそれ



\*「令和7年上半年サイバー空間脅威情報」（警視庁）抜粋

## 被害に遭わない、被害を抑えるために

✓ 詳しくは、政府広報オンライン動画

警察庁制作協力

「中小企業で被害多数 ランサムウェア」



<https://www.gov-online.go.jp/useful/202506/video-298784.html>

### 未然防止

#### ■ 認証方式

多要素認証の導入

異動で使わなくなったIDは削除

パスワード長は一定以上に

#### ■ 脆弱性対策

ネットワーク機器のアップデート

OS・ソフトウェアの更新

ウイルス対策ソフトの更新

### 拡大防止

サイバー攻撃を想定した業務継続計画（BCP）の策定

オフラインを含むバックアップの取得

被害調査に必要な不可欠なログの取得



動画「ランサムウェア対策の基本」

<https://www.gov-online.go.jp/vertical/online/video-478.html>

記事「ランサムウェア、あなたの会社も標的に?被害を防ぐためにやるべきこと」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202210/2.html>



⚠ 被害に遭ってしまったら  
警察に通報・相談!!



警察庁  
National Police Agency

ご相談は「サイバー事案に関する相談窓口」へ

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>



**警察からのお願い**

# 警察からのお願い

## ① 警察への連絡体制の整備について

サイバー事案が発生した際に迅速に対応できるよう、警察への連絡体制の整備をお願いします。

### <対策例>

- ・ サイバー攻撃対応マニュアル等に警察の連絡先を記載する。
- ・ サイバー攻撃を想定した事業継続計画(BCP)を策定し、初動対応における警察との連携を記載する。

## ② 被害発生時における対応について

### ●速やかな通報・相談

最寄りの警察署又は都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口に通報・相談して下さい。

### ●初動対応における警察との連携

侵入経路や侵害範囲の特定のため、外部接続機器を中心としたログの保全に努めてください。また、必要に応じて以下の内容を伺いますので、情報提供に御協力をお願いします。

- ・ 被害端末に関する情報(データ暗号化の有無、具体的な症状等)
- ・ ネットワークの構成(ネットワーク構成図等)
- ・ インターネットに接続可能な機器に関する情報(機器名、利用状況等)

# ご清聴ありがとうございました



安易なクリック「ポチッ」は

**ダメ!**

サイバー防犯キャラクター  
「ダメポチくん」